未洗浄内視鏡を使用した事例を経験し改善したこと

市立島田市民病院　内視鏡センター
○ 野村佳代子　望月由美子　鈴木藤子　青島忍
森本明美　松浦さおり　大塚清美

はじめに

- 2009年に未洗浄内視鏡を使用して検査を行うという事故が発生した
- 事故について検討し、対策を講じた
- 2010年に同様の事故を未然に防げた事例が発生した
- 再度検討、対策を行った結果、再発を予防出来ているのでここに報告する

事例分析（業務流れ図での分析）

1. 情報収集（背景要因を探る）
2. 時系列での事象把握
3. 事象毎の背景要因を整理
   →原因関連図の作成
   →「なぜ？なぜ？」と背景要因を探る
   （RCA分析）
   ＊業務流れ図による分析

分析の流れ

時間分析と患者影響度を考える

市立島田市民病院　提供

事例報告1

前処置看護師は患者2の処置をしながら洗浄後のスコープを準備する

検査モニター画面・システムに患者情報（氏名・生年月日）登録

介助看護師は患者2に退室を促しながら使用済みスコープを片付ける

洗浄スタッフ使用済みスコープ洗浄、洗浄履歴記入

スコープNo. 入力

スコープハンガー
上段に未使用
下段に使用済
（暗黙のルール）

看護師と施行医師
患者確認

検査医はスコープを上段から取り終了後下段に戻す
（暗黙のルール）

洗浄スタッフ
洗浄履歴照合

患者2自身　画面から自身の情報確認
（氏名・生年月日）

手順

患者1検査終了
患者2前処置中

患者2準備後入室

患者2　実施

患者2　終了

事故発覚

未然対応可能

time

事故発生

介助看護師が患者2を検査台に誘導する

スコープハンガー上段にスコープが掛かっていた

確認済みだと思った

検査モニター画面・システムに患者情報（氏名・生年月日）登録

洗浄スタッフ
洗浄履歴照合

行動

「誰か」が清潔なスコープを準備してくれたと思った

スコープハンガーに清潔・不潔の表示が無い

当然清潔だと思った

スコープNo. 入力

1と2に使用したスコープが同じと気付いた

看護師と施行医師
患者確認

手の空いている「誰か」が片付ける習慣

医師
看護師間に会話が無い

患者B自身　画面から自身の情報確認
（氏名・生年月日）

検査数と洗浄スコープの数が合わない

手順はあるが責任が曖昧

コミュニケーションの不足

置き場所の清潔・不潔を可視化する必要性

手順の修正
マニュアルの見直し

市立島田市民病院　提供

事例1に対する改善

改善前

暗黙のルール

上段：清潔

下段：不潔

表記

上段：清潔

下段：使用済

改善後

市立島田市民病院　提供

事例報告2

スコープハンガー
上段　清潔
下段　使用済
（色分け表示）

手順

患者1検査終了
患者2前処置中

患者2準備後入室

検査医は終了後スコープを使用済に掛ける

下段にあるスコープを洗浄スタッフが速やかに片付け、洗浄後のスコープを上段に準備する

検査医は清潔のスコープを使用し検査を行う

患者2　実施

検査モニター画面・システムに患者情報（氏名・生年月日）登録

スコープNo. 入力

看護師と施行医師患者確認

患者B自身　画面から自身の情報確認（氏名・生年月日）

検査施行医は上段のスコープを使用し検査を行う

検査医は終了後スコープを使用済に掛ける

患者2　終了

time

行動

介助看護師が患者2を検査台に誘導する

検査モニター画面・システムに患者情報（氏名・生年月日）登録

スコープNo. 入力

看護師と施行医師患者確認

患者B自身　画面から自身の情報確認（氏名・生年月日）

医師がスコープをハンガー上段に掛けた

習慣的行動

事故発生

事故発覚

未然対応可能

介助看護師が使用済みスコープ上段に掛けたのをミタ!!

スコープ毎に可視化することに対して対策不足があった

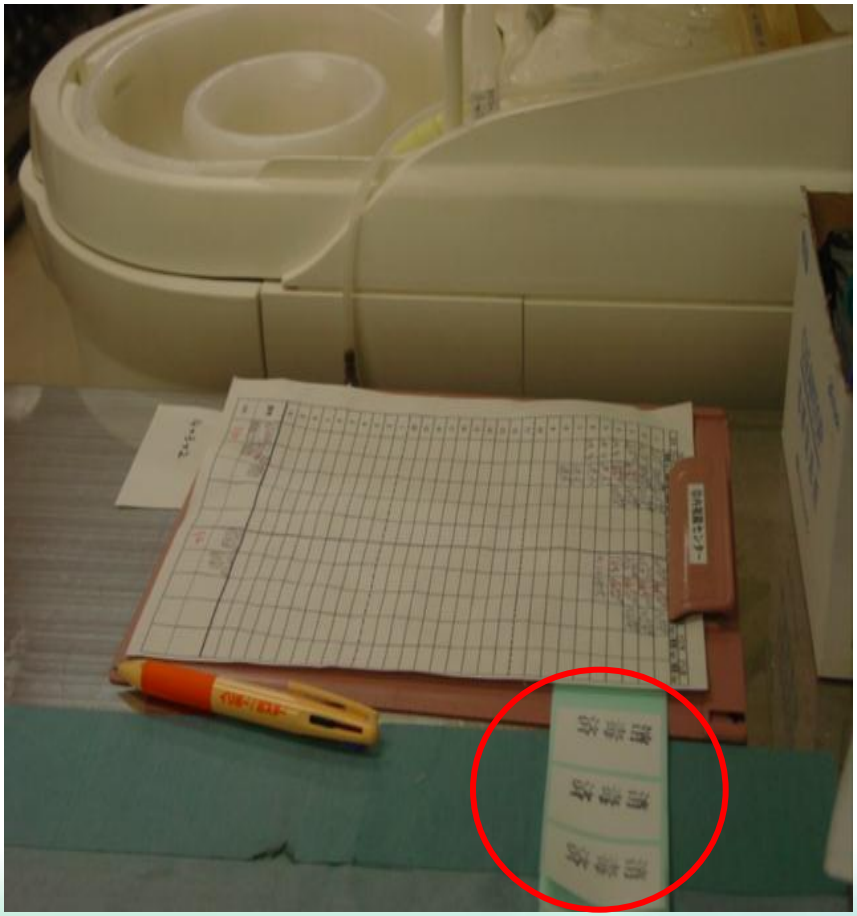
スコープ毎に清潔・不潔を可視化する必要性

事故1からの修正
手順に沿った行動

手順の修正
マニュアルの見直し

市立島田市民病院　提供

事例2に対する改善策1



- 「消毒済」シール作成
- シールを洗浄後の内視鏡そばに置く

市立島田市民病院　提供

事例2に対する改善策2

洗浄後スコープに、
「消毒済」シールを
貼付する

市立島田市民病院　提供

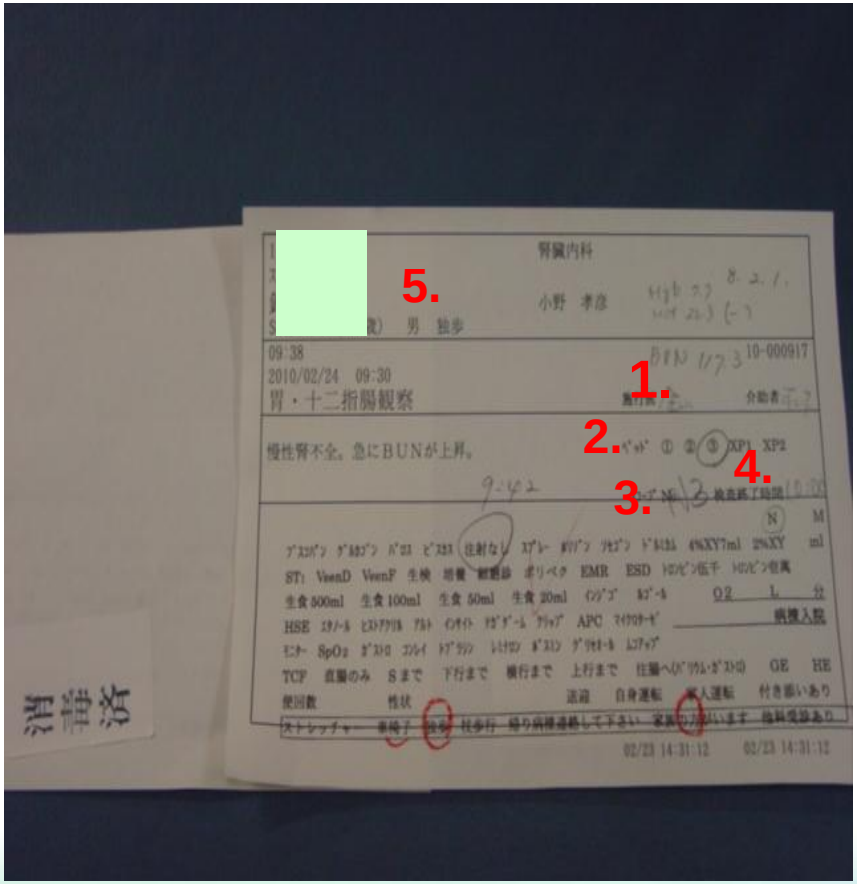
事例2に対する改善策3

- シールが貼られたスコープを、洗浄スタッフがスコープハンガー上段に設置
- 検査医と看護師が実施直前にシールを確認

☆タイムアウト・指さし呼称

市立島田市民病院　提供

事例2に対する改善策4



- 看護師は検査記録用紙裏にシールを貼る（裏面）
- 検査記録用紙記載事項

1. 施行医、介助者
2. ベッドNo
3. スコープNo
4. 検査終了時間
5. 外したスタッフ

市立島田市民病院　提供

考察1

- 洗浄スタッフが自分の洗浄したスコープを患者に提供しているという意識の向上が出来た
- 医師、コメディカルのスコープに対する清潔意識の向上が出来た
- シールの無いスコープが「清潔」に置いてあると、検査医が洗浄済みかの確認をするようになった
- 医師を巻き込んだことがKYT活動に有効だった

考察2

- スコープ使用前点検のスタッフが、シールにサインをし、点検時は異常が無かったことを提示するようになった　（異常時は使用しないが）
- 検査中スコープに異常が起きたときは、準備したスタッフに点検時の状況確認が出来るようになった

結語

- コメディカルスタッフ
  「安全なスコープを提供が出来る」
- 患者
  「安全なスコープの使用を知ることが出来る」
- 相互が検査に対して安全の確認行動が取れるようになった
- 今後も安全を提供するために、記入漏れなどのヒューマンエラーを減らしていけるよう声を掛け合ってKYTに努めていきたい

御清聴有難う御座いました

蓬莱橋
全長897．4m、通行幅2．4mの木造歩道橋
大人　往復100円

市立島田市民病院　提供